



別所だより

横浜市立別所小学校

令和4年9月22日発行



副校長 山中 智恵

感謝の気持ちを込めて

季節は移ろい、校庭の景色も秋色に変わってきました。登校後、自分の育てている植木鉢に向かって一目散に水やりに来たり、種をとったりしている子どもたちに声をかけるのが毎日とても楽しみです。「ぼくのオジギソウに、水をあげると、緑の葉っぱが閉じてピンク色に変わるよ」と教えてくれた1年生。オジギソウの葉の表側の色は鮮やかな黄緑色ですが、葉の裏側の淵の色が赤茶色で、表と裏の色が違います。水がかかって葉が閉じる様子をよく観察し、色の変化を自分なりに捉えているのだなと感心しながら聞いていました。中休みには、そのオジギソウの周りに3年生が集まって、「すごいね」、「不思議だね」、「おもしろいね」と言いながら、葉っぱが閉じる様子を楽しんで見ていました。子どもたちのキラキラと輝く目が忘れられず、もっとオジギソウのことが知りたいたいと思い、『植物は<知性>をもっている』という本を読んでみました。移動できない植物は、人間などの動物と比べても多くの感覚器をもち、光や音、匂い、重力、水分、二酸化炭素等、周囲のあらゆる情報を感知しているそうです。他にも、植物は、湿度計のようなものをそなえていて、地面の湿り具合を正確に測定でき、かなり遠くにある水源も感知できるそうです。人間は、五感（視覚、嗅覚、味覚、聴覚、触覚）を持ちますが、植物はそれ以上の「20の感覚器」を持つとされています。その中でも、オジギソウは、高度な「触覚」を持っていて、人や動物に触れられたかどうかや、振動を感知することができるそうです。子どもたちの視線の先に見えたものや、五感で感じたものを見つけると、心を一緒に動かされることがたくさんあります。別の日の朝、「こんなにたくさん種がとれたよ」と笑顔で教えてくれた1年生の小さな手のひらの上には、たくさんのマリーゴールドの種がありました。その種を、一つ一つ手にとり、大事にランドセルの中のビニール袋に入れた後、教室に向かう後ろ姿を見て、私も嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

いよいよ来月から運動会の練習が始まります。今年の運動会は、全学年の子どもたちが一同に参加できるようにし、午前中のみ開催にはなりますが、種目や練習日程なども、子どもたちの健康と安全を第一に考え、実施できるよう計画しています。感染防止対策をとりながらの実施となりますので、当日までの期間、保護者の皆さまにはご理解、ご協力いただくことがたくさんあるかと思えます。学校教育目標の、「ともに生き生き とともににこにこ 別所の子」～子どもが主役の学校づくり～の実現に向けて、教職員一同子どもたちの成長を見逃さず、一緒に喜べるよう努力します。10月7日に、期分式を迎えます。子どもたちは担任から「あゆみ」を受け取ります。お子様が「あゆみ」を持ち帰りましたら、ぜひ一緒にご覧になり、たくさんの言葉で褒めていただけたらと思います。

結びになりますが、保護者の方、地域の皆さまには、前期にたくさんのご支援、ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。後期もどうぞよろしくお願いいたします。